

## ■これまでの助成先一覧

### 第1回助成（2002年度に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ ー マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への調査研究助成</b>		
竹峰 誠一郎	マーシャル諸島アイルック環礁のヒバクシャ調査	160万円
水野 玲子	地域における出生児の性比変化と死産、出生に関する調査研究	60万円
桑垣 豊	リサイクルをめぐる物質の流れの実態調査とその評価	50万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
朝野 賢司	エネルギー市場再編下の持続可能なエネルギー政策 【研修先：デンマーク】	170万円
国沢 利奈子	中国の貧困削減を可能にするためのマイクロクレジット調査研究 【研修先：中国】	65万円
奥嶋 文章	ドイツの脱原子力政策の研究【研修先：ドイツ】	50万円
<b>●市民科学者をめざす国内のグループへの調査研究助成</b>		
地層処分問題研究グループ 伴 英幸	高レベル放射性廃棄物地層処分の批判的検討	200万円
沖縄ネットワーク 砂川 かおり	在沖米軍基地の環境影響調査及び関係者間の技術的サポートシステム 構築の可能性調査	100万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	長島の自然環境及び生態系調査研究	100万円
吉野川みんなの会 姫野 雅義	森林の治水機能の向上による「緑のダム」効果 —吉野川流域における治水ダム（可動堰）への代替案としての森林整備—	100万円
たまあじさいの会 濱田 光一	日の出町ゴミ最終処分場からの焼却灰拡散の実態調査と成果広報活動	75万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
GCAA：グリーン・シティズンズアク ション連盟 ライ・ウェイ・チェ【台湾】	台湾原発の建設、操業による健康・環境への脅威	100万円
AEPS：持続可能なオルターナティブ エネルギープロジェクト ワチャリー・パオルアントン【タイ】	石炭火力発電所反対派住民による環境・社会調査	100万円
WWFインドシナプログラム チャン・ミン・ヒエン【ベトナム】	2002年マイアミでのウミガメ・シンポジウムへの参加	20万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人への研修奨励</b>		
ナ・チュン・グ【韓国】	持続可能なエネルギーと環境の未来のための、安全で信頼でき環境に 許容可能な電力の改革についての研究 【アメリカ・デラウェア大エネルギー環境政策センター】	50万円

## 第2回助成（2003年度に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ ー マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への調査研究助成</b>		
水野 玲子	杉並病を始めとした環境汚染による健康被害の病像パターン分析	50万円
白井 寛二	わが国の開発援助・国際金融業務の実施機関における環境配慮ガイドラインの実効性に関する調査研究	30万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
永瀬ライマー桂子	人体へのマイクロ波照射と、そのもたらす影響に関する認識の変化に関する社会史的研究【研修先：ドイツ】	50万円
立澤 史郎	市民の手による生態系保全のための科学的アドバイザーの手法と体制を実現するための実践的研修【研修先：フィンランド・ノルウェー】	50万円
笹川 桃代	自然エネルギープロジェクトにおける市民参加とそれがもたらす地域発展の可能性についての先進事例研究【研修先：デンマーク】	50万円
<b>●市民科学者をめざす国内のグループへの調査研究助成</b>		
地層処分問題研究グループ 志津里 公子	高レベル放射性廃棄物地層処分の批判的検討	120万円
天草の海からホルマリンをなくす会 松本 基督	1) 魚類養殖業によるホルマリン使用実態調査 2) 海水中に流されたホルマリンの影響評価に関する調査・研究	100万円
原子力資料情報室 伴 英幸	原子力機器の材料劣化の視点からみた安全性研究	100万円
カネミ油症被害者支援センター 佐藤 禮子	カネミ油症被害者の健康追跡調査と台湾油症との比較調査研究	100万円
沖縄環境ネットワーク 砂川 かおり	在沖米軍基地による環境問題解決に向けての市民参加型システム作り	60万円
日韓共同干潟調査団ハマグリプロジェクトチーム 山下 博由	「沈黙の干潟」：私たちは何を食べるのか？ －ハマグリを通して見る日本と韓国の食と海の未来－	30万円
核の「中間貯蔵施設」はいらない！下北の会 野坂 庸子	むつ市議会議員「海外先進地視察研修報告書」の検討と批判	30万円
グリーンコンシューマー東京ネット 佐野 真理子	生分解性プラスチック普及に伴う社会的影響と対応策の研究	30万円

### 第3回助成（2004年度に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への調査研究助成</b>		
岡本 尚	我が国に於けるダムの堆砂進行速度を決定する要因と法則性の調査・研究	35万円
真野 京子	放射線照射による不妊化の科学社会史的研究	30万円
越田 清和	伊達火力発電所反対運動の遺したもの	30万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
松野 亮子	内分泌攪乱物質の法規制について【研修先：イギリス Kent Law School, University of Kent at Canterbury】	50万円
奥田 美紀	環境的正義の視点からみた環境法・行政立法過程・住民運動——米国サンフランシスコ市ハンターズポイントにおける環境汚染を事例として【研修先：アメリカ】	20万円
<b>●市民科学者をめざす国内のグループへの調査研究助成</b>		
国土問題研究会 大滝ダム地すべり問題自主調査団 奥西 一夫	市民防災の立場にもとづく奈良県大滝ダムのダム地すべり災害の研究	60万円
カネミ油症被害者支援センター 石澤 春美	カネミ油症被害者の聞き取り調査：聞き取り記録集の作成	110万円
ナギの会 渡辺 寛	江戸期からの慣行的水利用の実態調査・研究をすすめ、新時代の河川管理、環境保全の資料として提供する。	25万円
天草の海からホルマリンをなくす会 松本 基督	1) ホルマリン由来の反応生成物に関する調査・研究 2) 魚類養殖場周辺の底質調査	70万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	上関原発予定地長島の自然環境・生態系の調査・解明と保護・保全方法の確立に向けての実践的試行と検証	110万円
JCO 臨界事故総合評価会議 古川 路明	JCO 臨界事故の原因と影響に関する調査報告書の英訳出版	30万円
原子力資料情報室 澤井 正子	六ヶ所村再処理工場に関する包括的批判的研究	100万円
地層処分問題研究グループ 志津里 公子	高レベル放射性廃棄物地層処分の批判的検討	35万円
原子力資料情報室 伴 英幸	維持基準の原発安全性への影響に関する研究	90万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
内モンゴル沙漠化防止植林の会 ポリジギン・セルゲレン【モンゴル】	内モンゴル沙漠化防止に取り組む日本の植林団体に関する調査研究	100万円
TIMMAWA.Movement for Peasants to Free the River Agno; Felinell Nagpala【フィリピン】	サンロケ多目的ダムプロジェクトによる魚類の汚染と健康への脅威に関する調査	30万円

#### 第4回助成（2005年度に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成</b>		
佐々木 聡	大規模治水ダムに潜在する危険性の研究とビデオ資料の製作	80万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	上関原発計画予定地の自然環境・生態系調査及び詳細調査が環境に与えるダメージの科学的検証	120万円
大入島自然史研究会 山下 博由	大分県佐伯市大入島石間浦の自然史・文化の研究	80万円
植田 武智	非接触 IC カード等の電磁波によるリスク研究 ユビキタス社会にむけての警告として	25万円
つる 詳子	漁業者の聞き取りから八代海異変の経緯を検証する	30万円
竹峰 誠一郎	米国のヒバクシャへの対応：マーシャル諸島にみる	60万円
樋口 倫代	東ティモールにおける地方保健職員によるコミュニティーレベルの 薬剤適正使用とトレーニングの及ぼす影響について	60万円
原子力資料情報室 伴 英幸	コスト計算に含まれない原子力発電の諸費用に関する調査研究	50万円
奥田 夏樹	エコツーリズムが自然環境に及ぼす影響についての研究	50万円
水俣病環境福祉学研究会 田尻 雅美	社会福祉学的視点からみた水俣病患者の生活被害と人権回復に関する 調査研究	50万円
諫早湾保全生態学研究グループ 佐藤 慎一	諫早湾干拓事業に伴う「有明海異変」に関する保全生態学的研究	30万円
国府田 諭	首都圏ディーゼル車規制の効果と実態および今後あるべき自動車環 境対策についての研究	30万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
松野 亮子	内分泌攪乱物質の法規制について【研修先：イギリス Kent Law School, University of Kent at Canterbury】	60万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
“Sakhalin Environment Watch” Lisitsyn Dmitry	To study the influence of the construction of the “Sakhalin-2” oil and gas project on indigenous peoples, local communities, and salmon spawning rivers.	50万円
内モンゴル沙漠化防止植林の会 ボリジギン・セルゲレン	内モンゴル沙漠化防止に取り組む日本の植林団体に関する調査研究	40万円

## 第5回助成（2006年度に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ ー マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成</b>		
原発老朽化問題研究会 湯浅 欽史	「高経年化（技術）評価報告書」の詳細な批判的検討	100万円
たまあじさいの会 濱田 光一	日の出町エコセメント製造工場の環境への影響調査	70万円
六ヶ所再処理工場放出放射能測定 プロジェクト 古川 路明	六ヶ所再処理工場からの放射能放出に関する調査研究	120万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	上関原発詳細調査による自然環境・生態系へのダメージの検証	100万円
関根 彩子	アナログ式ブラウン管 TV 受像機器廃棄物（バーゼル条約対象廃棄物）の発生の予測と、環境リスクおよびとるべき対策について	30万円
大間原発フル MOX 研究会 大場 一雄	大間原子力発電所フル MOX の安全性研究	100万円
西岡 政子	児童生徒疾病調査をもとに神奈川県全域の大気汚染を検証する	30万円
水俣病センター相思社 遠藤 邦夫	水俣市の廃棄物最終処分場建設予定地周辺の水環境に関する調査研究 ——建設反対のための科学的データの収集と分析	50万円
奥田 夏樹	日本型エコツーリズムの自然科学・社会科学研究	40万円
ストップ・ザ・もんじゅ 池島 美紀子	米、英、仏、独における高速増殖炉開発からの撤退について	20万円
丸浜 江里子	杉並における「杉の子」と原水禁運動	20万円
安藤 直子	アトピー性皮膚炎の成人患者支援スキームづくりのための基礎研究	30万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
“Sakhalin Environment Watch” Lisitsyn Dmitry 【ロシア】	Research of impact from pipelines construction under the Sakhalin II project	50万円
AGHAM Rey, Erika M. 【フィリピン】	Community-Based Research and Grassroots Education on the Environmental and Health Condition of Small-scale Mining Communities	20万円

第6回助成（2007年度に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成</b>		
埼玉西部・土と水と空気を守る会 前田 俊宣	ゴミ山（産業廃棄物の不法投棄）土壌の鉛含有濃度調査	30万円
国土問題研究会 千曲川土砂堆積・水 害調査団 中沢 勇	千曲川における河床土砂堆積と水害に関する調査研究	50万円
水俣病センター相思社 遠藤 邦夫	水俣市の廃棄物最終処分場建設予定地周辺の地質に関する調査研究	40万円
カネミ油症被害者支援センター 佐藤 禮子	国際ダイオキシン会議 NGO セッションの開催とカネミ油症英文冊子の作成	60万円
NPO 法人メコン・ウォッチ 後藤 歩	メコン河支流におけるベトナムのダム開発と国境を越えたカンボジアへの環境社会影響に関する調査研究	50万円
化学物質による大気汚染を考える会 森上 展安	大気中揮発性有機化合物簡易分析法の検討	60万円
三番瀬市民調査の会 伊藤 昌尚	三番瀬のカキ礁調査	30万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	上関原発詳細調査による自然環境・生態系へのダメージの検証	120万円
北限のジュゴンを見守る会 鈴木 雅子	沖縄のジュゴンとその生息環境に関する市民調査	70万円
相川 陽一	支援者にとっての三里塚闘争	70万円
日和佐 綾子	カンボジアにおけるジェンダーと開発	30万円
環瀬戸内海会議 阿部 悦子	瀬戸内海沿岸潮間帯の海岸生物調査と、それによる地域再生をめざして	30万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
秋山 晶子	市民の食生活から市場主義型「有機農業」を再考する： インド・ヨーロッパ・日本における「食の安全性」【研修先：インド】	50万円
古屋 将太	エネルギーパラダイム転換のための政治メカニズムに関する研究 【研修先：スウェーデン】	65万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
Sakhalin Environment Watch Dmitry Lisitsyn 【ロシア】	Investigation of the sources of pollution of the watercourses and airspace by onshore oil fields belonged to Russian state oil company "Rosneft".....	80万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人への研修奨励</b>		
胡 冬竹 【中国】	文化運動としての中国農村再建運動 ——中国晏陽初郷村建設学院の事例研究【研修先：中国】	65万円

第7回助成（2008年に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成</b>		
遺伝子組み換え食品を考える中部の会 伊澤 真一	遺伝子組み換えナタネの拡散を防ぐための名古屋、四日市港周辺の調査研究と活動	20万円
VOC 総合研究部会 森上 展安	簡易分析法によるプラスチック廃棄物処理による大気汚染の研究	20万円
水俣病センター相思社 遠藤 邦夫	水俣市における廃棄物最終処分場建設計画の環境影響に関する調査研究	50万円
「長野県廃棄物問題白書」刊行委員会 関口 鉄夫	「長野県廃棄物問題白書」の編集と出版	20万円
穴あきダム特別調査チーム 遠藤 保男	多目的ダムから治水専用（穴あき）ダムへの用途・形状変更等に関する調査研究	70万円
彩の国資源循環工場と環境を考える ひろば 加藤 晶子	彩の国資源循環工場による環境汚染調査	40万円
埼玉西部・土と水と空気を守る会 前田 俊宣	ゴミ山（産業廃棄物の不法投棄）土壌の有害重金属含有濃度調査	30万円
北限のジュゴンを見守る会 鈴木 雅子	市民による沖縄のジュゴン保護のための野外調査、文化調査とそれに基づく保護ロードマップの提案	50万円
たまあじさいの会 濱田 光一	日の出町ゴミ焼却灰のエコセメント化工場の環境影響調査	50万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	上関原発予定地長島の生態系の解明と詳細調査によるダメージの検証及び地域再生に向けた実験的試行	90万円
軻まちづくり工房 松居 秀子	軻（とも）港埋立て架橋阻止に要する「亀の甲（亀甲状石積み）」の調査	20万円
インドネシア民主化支援ネットワーク 佐伯 奈津子	日本の対インドネシア・エネルギー開発援助・投資	20万円
アジア太平洋資料センター（PARC） 内田 聖子	アジアに向かう電子ごみ ——有害廃棄物の貿易の実態調査と監視ネットワークの構築	30万円
原発老朽化問題研究会 湯浅 欽史	地震動を考慮に入れた原発老朽化の検討	70万円
香川ボランティア・NPO ネットワーク 石井 亨	別当川の自治と治水の批判的検証	25万円
森 明香	ダム計画をめぐる生活史 —熊本県川辺川流域での聞き書き—	20万円
六ヶ所再処理工場放射能測定プロジェクト 古川 路明	六ヶ所再処理工場からの放射能放出に関する調査研究	110万円
三浦の自然と大村湾の環境を守る会 野田 智子	大村市西部町江川流域の水質調査および江川河口海域の生態系の把握	20万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
小野田 真二	欧州の空間計画に関するコースへの参加と、戦略アセスの整理及び発電所の扱いに関する日欧比較研究 【研修先：スウェーデン Blekinge Institute of Technology】	40万円
根本 雅也	原爆被害の継承と実践 【研修先：広島医療生協原爆被害者の会】	50万円
徳 恵利子	国際協力の現場におけるリーダーシップトレーニングの設計とその効果 —東ティモールにおけるケーススタディー—	30万円
澤田 慎一郎	大阪・泉南地域の石綿被害実態と石綿公害問題の検証	10万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
Birds Korea Nial Moores 【韓国】	The Saemangeum Shorebird Monitoring Program, South Korea: monitoring the impacts of the world's largest ongoing coastal reclamation project on populations of migratory shorebirds, and gathering and organizing the necessary data to challenge further large-scale coastal reclamation projects in South Korea, and throughout East Asia.	65万円

## 第8回助成（2009年に実施された調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ ー マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成（一般応募）</b>		
遺伝子組み換え食品を考える中部の会 伊澤 真一	遺伝子組み換えナタネの拡散を防ぐための名古屋、四日市港周辺の調査研究と活動	70万円
化学物質問題市民研究会 安間 武	ナノテクノロジーに関連する問題点と安全管理に関する調査研究	50万円
インドネシア民主化支援ネットワーク 野川 未央	インドネシアへの原発輸出がもたらしうる影響調査	40万円
ピープルズ・プラン研究所 山口 響	在沖米海兵隊のグアム移転がグアムと沖縄に与える影響の研究	30万円
泡瀬干潟を守る連絡会 前川 盛治	沖縄島泡瀬干潟の生態系保全と持続可能な利用のための調査研究	60万円
グリーン・アクション アイリーン・美緒子・スミス	原子力は温暖化対策にならない むしろ新規原子力は温暖化を悪化させる	50万円
彩の国資源循環工場と環境を考える ひろば 加藤 晶子	彩の国資源循環工場による環境汚染調査	30万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成（継続応募）</b>		
化学物質による大気汚染を考える会 森上 展安	各地における VOC 汚染物質の変動	50万円
たまあじさいの会 濱田 光一	日の出町ゴミ焼却灰のエコセメント化工場の環境影響調査	50万円
北限のジュゴンを見守る会 鈴木 雅子	草の根市民による沖縄のジュゴン保護活動の構築	40万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	上関原発予定地長島の自然環境と生態系調査	70万円
原子力資料情報室 伴 英幸	地震動を考慮に入れた原発老朽化の検討	90万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
上杉 誠	有明海再生を目指した諫早湾の保全生態学的研究	20万円
木村 啓二	カリフォルニア州の再生可能エネルギー政策の研究	20万円
秋保 さやか	現代カンボジアにおける農村開発と稲作の変容 —「食糧の安全保障」に着目して	30万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
バン・トクシックス (Ban Toxics!) リチャード・グティエレス【フィリピン】	廃棄水銀の最終保管をフィリピンで行う場合： 最終保管施設運用リスクと国や自治体に求める政策の把握	40万円
カリカサン環境のための民衆ネットワ ーク (Kalikasan PNE) クレメンテ・パウティスタ Jr. 【フィリピン】	鉱物資源の豊富な地域における大規模鉱山開発による 環境社会影響調査	50万円
ウイメンズ・ディベロップメント・セ ンター (WDC) マリア・イラ・バマツ【フィリピン】	日本が融資するボホール灌漑事業フェーズ1 (マリナオダム) が 受益者農民の暮らしと環境に与えた影響に関する参加型調査	40万円
ワリヒ・ジャンビ (Walhi Jambi) アリーブ・ムナnder【インドネシア】	持続可能な暮らしのためのコミュニティフォレストの促進	30万円
インドネシア環境フォーラム (FoE インドネシア) カリサ・カリド【インドネシア】	緑化地区と都市貧困層の立ち退き政策における調査研究： 北ジャカルタのベルシ・マヌシアウィ・ダン・ベルウィバワ公園の 事例	10万円

第9回助成先 (2010年に実施された調査研究・研修)

氏名・グループ名	テーマ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成 (一般応募)</b>		
松葉のダイオキシン調査2010.3実行委員会 岡本 京子	市民が行う松葉のダイオキシン調査	20万円
夕張のメロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク 清野 宣昭	安定型処分場に依存しない農業用塩ビフィルムのリサイクル等資源化活用システムの構築に関する研究	20万円
ストップ・ザ・もんじゅ 池島 美紀子	「もんじゅ」及び若狭の原子力施設からの放射能放出調査	20万円
中島 満	原子力発電所の建設に伴う関係漁村地域の対応と海の入会実態の研究—漁協・漁業入会集団への現地聞き取り調査をとおして	30万円
ピープルズ・プラン研究所 山口 響	在沖米海兵隊のグアム移転がグアムと沖縄に与える影響の研究	40万円
グリーン・アクション アイリーン・美緒子・スミス	原子力は温暖化対策にならない むしろ新規原子力は温暖化を悪化させる	20万円
三浦の自然と大村湾の環境を守る会 野田 智子	汚泥堆肥化施設周辺の落下菌調査	10万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成 (継続応募)</b>		
埼玉西部・土と水と空気を守る会 前田 俊宣	産業廃棄物中間処理施設周辺環境影響調査	70万円
たまあじさいの会 濱田 光一	日の出町ゴミ焼却灰のエコセメント化工場の環境影響調査	60万円
化学物質による大気汚染から健康を守る会 森上 展安	建築材料等のVOC汚染による健康影響の総合調査	40万円
六ヶ所再処理工場放射能測定プロジェクト 古川 路明	六ヶ所再処理工場からの放射能放出に関する調査研究	80万円
原発老朽化問題研究会 伴 英幸	美浜1号炉の高経年化技術評価報告書の批判的検討	70万円
北限のジュゴンを見守る会 鈴木 雅子	草の根市民による沖縄のジュゴン保護活動の構築	30万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	埋め立ての危機に瀕する上関原発予定地の生物多様性の立証	70万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
佐藤 温子	脱原子力の政治過程—ドイツ・ゴアレーベンにおける最終処分場問題—【研修先:ドイツ リューネブルク大学民主主義研究センター】	50万円
玉山 ともよ	米国南西部におけるウラン鉱山をめぐる環境正義運動【研修先:アメリカ Southwest Research and Information Center】	56万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
センター・フォー・エンバイロメンタル・ジャスティス (CEJ) ヘマンサ・ウィサナゲ 【スリランカ】	水の正義:スリランカのホットスポットにおける水質調査	45万円
大連環境資源センター (DERC) 程 淑玲 【中国】	紅沿河原発建設における研究プログラム (遼寧省大連市)	35万円
バン・トクシックス (Ban Toxics!) リチャード・グティエレス 【フィリピン】	小規模鉱山開発コミュニティにおける水銀汚染の把握およびベースラインデータの構築—水・土壌のサンプル調査を通じて	30万円
緑色龍江 (Green Longjiang) 張 亜東 【中国】	松花江支流沿いの環境・健康状況に関する参加型調査や草の根教育を通じたコミュニティ研究	25万円
イロイロ市貧困者の会 (KAISOG) ノーマン・デキーナ 【フィリピン】	イロイロ市カラフナンの廃棄物処分場における環境・健康リスク調査	30万円
インドネシア反核市民連合 (MANUSIA) ディアン・アブラハム 【インドネシア】	日本とインドネシアの比較研究:原発の意思決定に参加する市民の権利に関する調査	35万円

第10回助成先（2011年に実施される調査研究・研修）

氏名・グループ名	テ マ	助成金額
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成（一般応募）</b>		
諫早湾アオコ研究チーム 梅原 亮	諫早湾干拓調整池におけるアオコの大発生とアオコ毒の堆積物および水生生物への蓄積と健康リスク	50万円
モベツ・サンクチュアリ・ネットワーク 畠山 敏	産業廃棄物最終処分場建設がモベツ川水系の野生サケの遡上・産卵に及ぼす影響に関する市民調査	40万円
チェルノブイリ救援・中部 池田 光司	チェルノブイリ原発事故被災地におけるバイオエネルギー生産と農業復興の試み	40万円
山下 正寿	ビキニ水爆実験被災船員の実態調査と事件の実相解明	70万円
FoE Japan 開発金融と環境チーム 波多江 秀枝	ニッケル鉱山開発および製錬事業地周辺における重金属（六価クロム等）による水質汚染と現地コミュニティの健康リスクに関する調査	50万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人・グループへの調査研究助成（継続応募）</b>		
カネミ油症被害者支援センター 石澤 晴美	「油症患者に係る健康実態調査」検証報告書の作成	50万円
化学物質による大気汚染から健康を守る会 森上 展安	合成樹脂系 VOC の健康影響実態調査	30万円
六ヶ所再処理工場放出放射能測定プロジェクト 古川 路明	六ヶ所再処理工場からの放射能放出に関する調査研究	80万円
海岸生物環境研究会 山下 博由	原子力発電所周辺における海岸生物相の研究	30万円
ピープルズ・プラン研究所 山口 響	在沖米海兵隊グアム移転がグアムと北マリアナ諸島に与える影響の研究	20万円
彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば 加藤 晶子	彩の国資源循環工場による環境汚染調査	20万円
原発老朽化問題研究会 伴 英幸	玄海1号炉の高い脆性遷移温度の検討	70万円
北限のジュゴンを見守る会 鈴木 雅子	草の根市民による沖縄のジュゴン保護活動の構築	20万円
長島の自然を守る会 高島 美登里	埋め立ての危機に瀕する上関原発予定地および周辺海域の生物多様性の立証	70万円
<b>●市民科学者をめざす国内の個人への研修奨励</b>		
桜井 なおみ	米国がん患者支援団体による科学研究費獲得、臨床試験推進に関する研修【研修先：アメリカ テキサス州立大学付属 MD アンダーソン キャンサーセンターほか】	30万円
佐藤 温子	脱原子力の政治過程 — ドイツ・ゴアレーベンにおける最終処分場問題—【研修先：ドイツ リューネブルク大学民主主義研究センター】	30万円
澤木 千尋	スウェーデン環境裁判所における判例研究及びその評価【研修先：スウェーデン ルンド大学大学院】	80万円
野崎 壱子	米国の工業的畜産と多国籍アグリビジネス支配に対抗する市民運動（サステイナブル・フード・ムーブメント）の成果とその手法を学ぶ【研修先：アメリカ Food First: institute for Food and Development Policy 他】	40万円
玉山 ともよ	米国ニューメキシコ州文化財として認定されたテラー山における「ロカ・ホンダ」ウラン鉱山開発問題【研修先：アメリカ Multicultural Alliance for Safe Environment】	37万円
<b>●市民科学者をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成</b>		
陳 炯霖 （緑色公民行動連盟）【台湾】	台湾における初めての市民地質調査隊：原発震災の危険性を防ぐために	50万円
頼 雲 （グリーンピース中国）【中国】	中国の電気電子機器廃棄物（E-waste）リサイクルにおける効果的なシステム構築：コミュニティにおける実践的調査	50万円
フィリピン民族民主運動（KPD） ピート・ビンラック【フィリピン】	ルソン島サンパレス州における大規模鉱山開発が流域や保護地区に与える環境影響：コミュニティによる資源管理と代替生計手段の把握	40万円
シュリプラカッシュ【インド】	伝統的な知識とウラン鉱山開発：開発エリアに住む人々の経験と知恵に関する調査	30万円

\*個人に対する助成の場合、所属団体は名前の後に（ ）で記載しています。

\*第8回助成より、国内向けの調査研究助成においては、「初めての応募の方、あるいは過去に一回、高木基金の助成を受けた方」を「一般応募」、「過去に高木基金の助成を二回以上受けた方」からの応募を「継続応募」として、区別しています。これは、新しい助成先を積極的に発掘するとともに、過去にも実績のある助成先については、これまでの助成の成果や、今後に向けた計画性などもふまえて助成選考をしていきたいという考えに基づいたものです。